

## 心理学実験 1 (Web)

科目コード	2566591
学習センター	千葉学習センター※本部開設
学習センターコード	12A
クラスコード	F
科目名	心理学実験 1 (Web)
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	生駒 忍 (イコマ シノブ) (川村学園女子大学・非常勤講師) 進藤 聡彦 (シンドウ トシヒコ) (放送大学・教授)
日程 実施時間	第1回：7月15日(水)までに課題提出 (オンデマンド型) 第2回：7月15日(水)までに課題提出 (オンデマンド型) 第3回：7月16日(木)3時限：14:05～15:35 (Zoom+オンデマンド型) 第4回：7月16日(木)4時限：15:50～17:20 (Zoom+オンデマンド型) 第5回：7月16日(木)までに課題提出 (オンデマンド型) 第6回：7月17日(金)2時限：11:35～13:05 (Zoom+オンデマンド型) 第7回：7月17日(金)3時限：14:05～15:35 (Zoom+オンデマンド型) 第8回：7月17日(金)4時限：15:50～17:20 (Zoom+オンデマンド型)

### 授業概要

#### 【授業内容】

心理学の基礎的な実験 2 種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験参加者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。行う実験はミュラー・リヤー錯視と概念学習の 2 つです。受講生の皆さんは、8 コマの授業すべてに出席し、2 つの実験についてそれぞれレポートを提出する必要があります。

#### 【授業テーマ】

- 第 1 回：心理学の研究手法、心理学実験とは (生駒・進藤)  
(放送授業教材『心理学概論 ('18)』の「第 2 回 心理学の研究手法」と『心理学研究法 ('20)』の「第 2 回 心理学研究法入門 2：研究法概説」を視聴し、課題を提出する)
- 第 2 回：ミュラー・リヤー錯視：事前解説と実験の実施 (生駒・進藤)  
(オンデマンド教材を学習したうえで、オンライン実験の参加者となり、そのデータを提出する)
- 第 3 回：ミュラー・リヤー錯視：データの分析 (生駒)  
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、データを分析し、図表等にまとめる)
- 第 4 回：ミュラー・リヤー錯視：事後解説と結果の考察 (生駒)  
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導、他の受講生とのディスカッションなどによって、データの分析結果について考察する)
- 第 5 回：概念学習：事前解説と実験の実施 (生駒・進藤)  
(オンデマンド教材を学習したうえで、オンライン実験の参加者となり、そのデータを提出する)
- 第 6 回：概念学習：データの分析 (生駒)  
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、データを分析し、図表等にまとめる)
- 第 7 回：概念学習：事後解説と結果の考察 (生駒)  
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導、他の受講生とのディスカッションなどによって、データの分析結果について考察する)
- 第 8 回：レポートの書き方 (生駒)  
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、実験レポートの標準的な様式や書き方について学ぶ)

#### 【学生へのメッセージ】

従来、対面の面接授業として開講していた「心理学実験 1～3」のオンライン授業です。本科目を履修して合格すれば、認定心理士資格の取得に必要な c 領域の認定単位 1 単位分を修得することができます。

なお、2020 年度第 1 学期の面接授業で「心理学実験 1」を受講予定だった学生は「心理学実験 1(Web)」を、「心理学実験 2」を受講予定だった学生は「心理学実験 2(Web)」を、「心理学実験 3」を受講予定だった学生は「心理学実験 3(Web)」を履修してください。

ただし「心理学実験 1～3」以外の c 領域対応科目を受講予定だった学生は、「心理学実験 1(Web)」「心理学実験 2(Web)」「心理学実験 3(Web)」のいずれかを履修することで、c 領域の認定単位 1 単位分として換算することも可能です。「心理学実験 1(Web)」「心理学実験 2(Web)」「心理学実験 3(Web)」の授業テーマをよく確認し、これまで履修した「心理学実験」の面接授業のなかで、経験していない実験課題を 1 課題以上含む科目を選択してください。

		<p>【成績評価の方法】 レポートの評点により行う</p> <p>【使用する教材】 放送授業・Google Classroom 上の資料・その他放送大学で作成したオンライン実験のウェブサイト（スマートフォンやタブレットではなく、必ずキーボードのある PC でアクセスしてください）</p> <p>【教材の入手方法】 Google Classroom から各自で入手</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は 2008 年度以前「専門科目：発達と教育」に該当します。 同時双方向授業(Web 会議)への参加日程: 7月16日(木) 14:30~15:30(60 分)、16:00~17:00(60 分) 7月17日(金) 12:00~13:00(60 分)、14:30~15:30(60 分)、16:00~17:00(60 分) ※時間は多少前後することがあります。</p> <p>課題の難易度:研究法や統計法を中心とした心理学の基礎的な知識とインターネットやパソコンのソフトウェアに関するスキルが必要です。</p> <p>提出期限: 授業終了後に Google Classroom を通じて、実験レポート 2 本分を提出することを求めます。提出期限は 7 月 29 日(水)18 時です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 心理学研究法と心理統計学を中心に心理学の基礎的な知識を身につけておいてください。実習課題の内容について、あらかじめ学習しておく必要はありません。</p> <p>【授業の要件】 ウェブ会議を用いた同時双方向授業への参加・ネット上にアップされた課題の実行と提出・放送授業の視聴・ネット上にアップされた動画の視聴・事後課題の提出・その他 オンライン実験への参加</p> <p>【学生に必要なスキル】 ウェブ会議システム（Zoom、Google Meet など）への参加・放送授業の視聴・その他、学生に必要なスキルの具体的な説明 オンライン実験への参加、実験データの分析、レポートの作成等にインターネットやパソコンのソフトウェアを使用しますので、それらの基本的な操作（具体的には、インターネット接続、Google Chrome などのブラウザの利用、Microsoft Word や Excel などの操作）ができることが必須です。またこの授業は、Google Classroom と Web 会議システム（Zoom を予定）を利用したオンライン授業ですので、これらの利用に必要な機器（マイク）とスキルが求められます（Google Classroom や Zoom は、基本的なパソコン操作ができれば、比較的容易に利用できます）。</p>
実施会場	※Web 会議等授業	